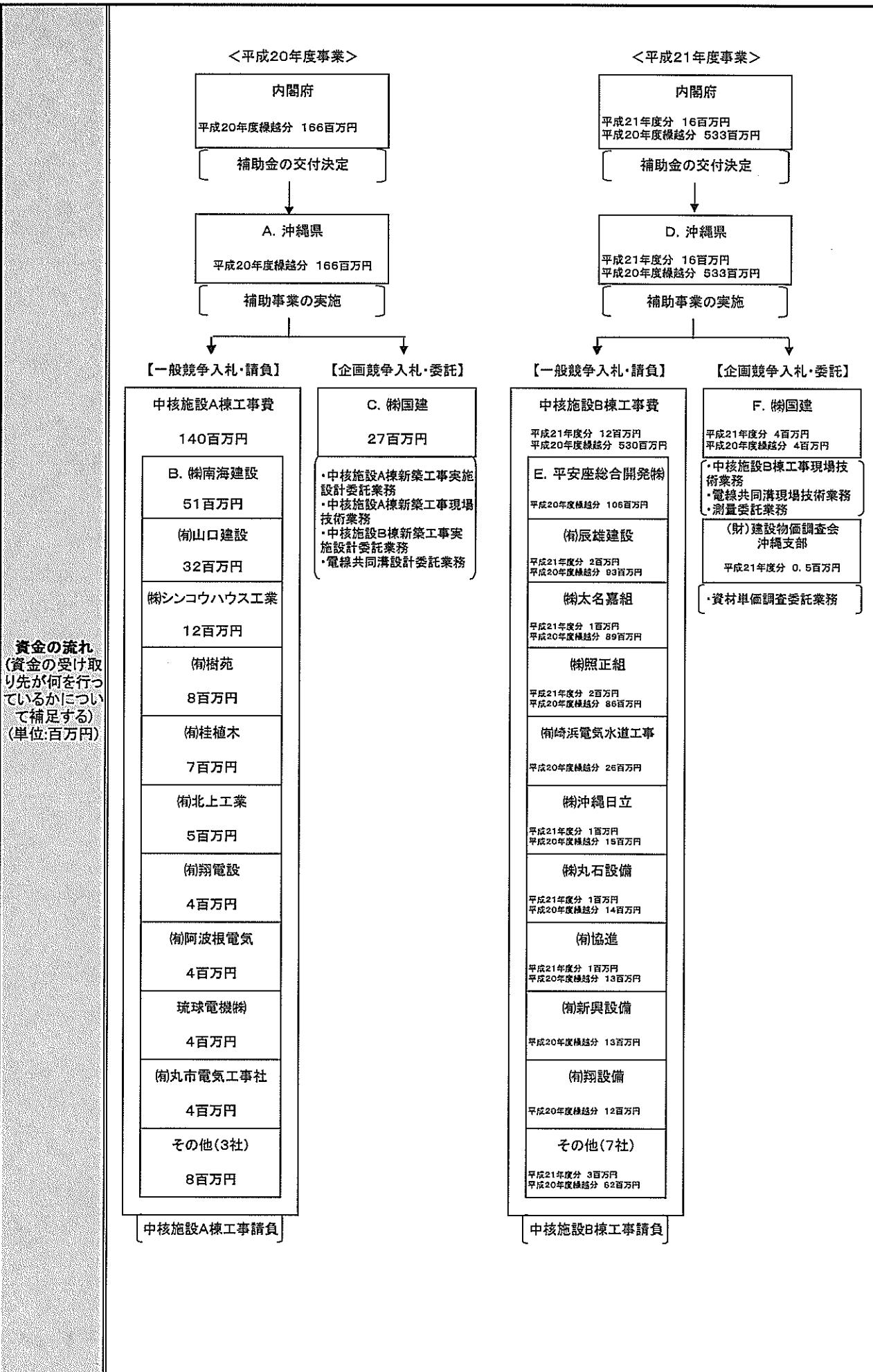


行政事業レビューシート (内閣府)						
予算事業名	沖縄IT津梁パーク整備事業	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局庁	政策統括官(沖縄政策担当)	担当課室	参事官(産業振興担当)	参事官 重倉 光彦		
会計区分	一般会計	上位政策	沖縄政策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄の情報通信産業は、企業数、雇用者数等の指標において大きく成長しているが、未だコールセンターなど付加価値が比較的低い業態が多い。この改善の方向として、高度ソフトウェア開発等の新しい情報通信産業の拠点となり、かつ、アジアとの津梁機能及び高度な人材育成の機能等を備える沖縄IT津梁パークを整備する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	うるま市に高度ソフトウェア開発等の新しい情報通信産業の拠点となり、かつ、アジアとの津梁機能及び高度な人材育成の機能等を備える沖縄IT津梁パークを開設すべく、平成20年度予算で中核機能施設A棟を、平成20-21年度予算で中核機能施設B棟を整備する。 事業主体:沖縄県、補助率:2/3					
実施状況	中核施設A棟については整備が完了し、平成21年6月に開所した。 中核施設B棟については不発弾等対策のための磁気探査などにより工期の遅れが生じ、平成22年8月竣工予定。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
予算額(補正後)	—	1,328	1,569	784	—	
執行額	—	559	716			
執行率	—	42%	46%			
総事業費(執行ベース)	—	839	1,074			
支出先・使途の把握水準・状況	事業期間中、内閣府から沖縄県に対し、電話、電子メール等により事業進捗を確認するとともに、内閣府担当者は、計2回(平成21年8月、平成22年3月)現地へ赴き、沖縄県担当者等からヒアリングを実施し事業の進捗状況の確認を行った。また、補助金の額の確定時においては、支出等に関する書類により適正性を確認した。					
自己点検	見直しの余地	21年度終了事業(一部、22年度に繰越)				
化予 予算 監視 の・ 所効 見率	事業の成果について適切に検証できる仕組みを検討すべき。					
予算の状況	「予算の状況」欄 翌年度への繰越額は、20年度769百万円、21年度784百万円である。					



A.沖縄県			E. 平安座総合開発株		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	設計監理委託料	27	工事費	沖縄IT津梁パーク・中核B棟新築工事(建築1工区)	106
工事費	中核施設A棟工事	140			
計		166	計		106
B. 株南海建設			F. 株国建		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	沖縄IT津梁パーク・中核A棟新築工事(建築2工区)	51	委託費	・中核施設B棟工事現場技術業務 ・電線共同溝現場技術業務 ・測量委託業務	7
計		51	計		0
C. 株国建			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	・中核施設A棟新築工事実施設計委託業務 ・中核施設A棟新築工事現場技術業務 ・中核施設B棟新築工事実施設計委託業務 ・電線共同溝設計委託業務	27			
計		0	計		
D.沖縄県			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	設計監理委託料	8			
工事費	中核施設B棟工事	542			
計		549	計		

費目・使途
 「資金の流れ」
 においてプロックごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
**使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)**